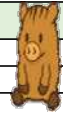


交換留学(派遣) 帰国報告書

あなたの情報(本報告書を閲覧する際には、あなたの氏名、学籍番号、メールアドレスは公開されません)	
留学先大学:	Vrije Universiteit Brussel
留学先での所属学部・研究科:	Social Sciences
留学先での在籍身分:	international students
留学期間:	2019.9.13～2020.7.5
神戸大学での所属学部・研究科:	国際人間科学部
学年(出発時):	3年
帰国日:	2020.3.20
本報告書記入日:	2020.7.14



1. 留学先大学について

1-1	学年開始月日:	9 月 23日
	学年終了月日:	7 月 5 日
	学期:	① 9 月 23 日～ 2 月 9 日
		② 2 月 10 日～ 7 月 5 日
		③ 月 日～ 月 日
		④ 月 日～ 月 日
1-2	留学先大学の特長、人気のある分野等について記入ください。	ブリュッセル自由大学はオランダ語とフランス語の2校ありますが、蘭語系だったので大学内の案内はすべてオランダ語です。キャンパスはかなり広くてきれいで、大学内にジムも完備されています(有料)。理系が有名のようですが、多くの分野でヨーロッパ内の様々な大学の教授や専門家による授業があるので授業の質は高いです。
1-3	留学先大学のサポートについて記入ください。	
	語学面でのサポート:	基本的に英語でのコミュニケーションが可能で、フランス語や他の言語を学べるコースがありました。
	勉強面でのサポート:	分からないことは質問できる環境で、教授はメールやCANVASなどを通して学生の質問に適宜答えていました。
	精神面でのサポート:	student officeにわからないことを聞くと丁寧に答えてくれました。
	住居・生活面でのサポート:	住居に関しては寮の案内がErasmus student優先のようで、あまりサポートは受けられなかったです。
	課外活動のサポート:	留学生を含む学生向けイベントが月2, 3回は開催されていた。また、最初のオリエンテーションの際に学生団体などの案内がありました。
1-4	近況報告書提出後に、履修した授業について記入してください。	クリックで別シートへ
1-5	神戸大学の所属学部・研究科にて「単位認定」を申請する予定ですか?	はい

2. 住居について

2-1	住居についてアドバイスを含め自由に記入してください。(気を付けること等)	大学内にあるU-residenceという寮か、自分でアパートを借りるかの2つの選択肢がありますが、個人的には自分でアパートを借りることをお勧めします。というのも、大学寮はかなり家賃が高く、常駐スタッフがいないため、何かトラブルがあったときに解決しにくいからです。その代わりかなりきれいですし、一人部屋の場合はトイレやキッチンなどすべてそろっているのので、シェアハウスによるストレスはないと思います。アパートは基本的に自分の部屋はあってもキッチンやトイレ、バスルームなど誰かとシェアする形が多いですが、そのため家賃は比較的低く抑えられると思います。自分が異国で生活するうえで必要な条件を考慮しつつ住居を選ぶことをお勧めします。
-----	--------------------------------------	--

3. 生活について

3-1	インターネット接続環境について	
	住居内のインターネット接続可否、プロバイダー、料金等について記入してください。	アパートに付いているWi-fiを使用していましたが、つながりにくい時もありました。料金は家賃に含まれていました。
	大学内のインターネット接続可否(wi-fi)等について記入してください。	使いやすいです。
3-2	医療について	
	留学中に病院に通いましたか。医療費等について記入してください。また、健康管理や衛生面について特に注意すべき点について教えてください。	通いませんでした。体調不良の時薬局などで薬を買うこともできますが、効力が強すぎたり、どの薬を使えばいいかわからないことがあるので、すぐに薬を飲むように自分がよく飲んでいる風邪薬を多めに持ってくる方がいいと思います。
3-3	銀行口座等について	
	留学先でお金を引き出す為にどんな準備・手続きをしましたか。(現地口座開設、キャッシュパスポート等)	基本的にクレジットカードを使用しており、現金が必要な場合は日本で両替した現金を使用していました。両替レートが悪いと聞いていたので、キャッシュパスポートや現地口座など留学先でお金を引き出すことはしませんでした。

4. 経費について(奨学金、留学費用)

4-1	奨学金を受給していた場合、奨学金名(財団名等):	JASSO給付型奨学金
	支給額(円/月):	80000円/月
	その他(渡航費等の支給):	なし
4-2	留学期間を通して必要だった費用を記入してください。 (概算で結構ですので、円価で記入してください。)	
	航空運賃:	210,000 円
	住居費:	(月額) 65,000 円 × (留学月数)7ヵ月 = 455,000 円
	食費:	(月額) 20000 円 × (留学月数)7ヵ月 = 140,000 円
	保険料:	80,000 円
	その他:	(通学バス・交通費など) 50,000 円
	合計(留学期間全体の費用):	935,000 円

5. 異文化体験について

5-1	留学先の文化・社会(習慣の違い等)について記入してください。	特に違いはなかったように思いますが、バス・電車の乗り方等はかなり異なるので事前に調べたうえで利用する方がよいと思います。
	大学外の現地の人々と、どの程度コンタクトを持ちましたか。	アパートの住人、別の大学の学生等
	課外活動(ボランティア、インターンシップ、アルバイト等)はしましたか。	していない
	留学先の「町」についてコメントがあれば、記入してください。(安全性、外国人への態度等)	大学近くは比較的安全な地域で、留学生も多いので外国人に対して差別的な態度をとる人はほとんどいなかったと思います。ただ、近くのバーで大麻を吸っている人がいたり、道やバスなどで財布を取られたりということがあったという話も聞いているので、注意する必要はあります。

6. 就職活動について

6-1	留学期間中に就職活動をしましたか。就職活動をした場合、どんなことをしたか教えてください。	特にしていない
-----	--	---------

7. アドバイス、振り返り

7-1	現地で参考となった留学先国の情報(出版物、ホームページ)を記入してください。	地球の歩き方、ベル通、BELPLUS
7-2	現地では手に入らない物、日本から持参すると良いと思われるものがあれば、記入してください。	薬、マスク、コンセント(C, SEタイプ)、消臭スプレー(ファブリーズ等)、スリッパ、ウエストポーチ(パスポート、お金などを入れるもの)
7-3	留学することによって得られたことについて記入してください。語学力の向上、キャリアパスの明確化、異文化理解等)	語学力(特にリスニング、スピーキング)、異文化理解、いろんな国の友人
	語学力について、差し支えの無い範囲で、留学前と帰国後の客観的な指標を教えてください。	留学前:(TOEIC)700 点 → 帰国後:(TOEIC) 780 点
7-4	振り返ってみて、何が最大のトラブルでしたか。	コロナウイルスの感染拡大により途中帰国になったこと
7-5	留学前、留学期間を通じて、神戸大学のあなたへのサポートは適切でしたか。神戸大学への要望があれば記入してください。	適切だったと思います。
7-6	本留学プログラムを先輩に薦めますか。薦める場合・薦めない場合ともに、理由を記入してください。	薦める:オリエンテーションやStudent Office等大学の留学生サポートが厚かったから。
7-7	留学全体を振り返って、以下の質問に教えてください。 ・留学先大学の授業の「質」(内容、レベル等)に満足しましたか	(5段階評価、5が最も高い評価、1が最も低い評価) 4
	・留学先大学の学生サービスに満足しましたか	5
	・留学先の住み心地(安全性等)に満足しましたか	5
	・住居の「質」(広さ、料金等)に満足しましたか	4
	・全体として留学に係る費用は安かったと思い、満足しましたか	4
	・神戸大学の留学に係るサポートに満足しましたか	5
	・留学全体の総合的な評価	4

留学生生活全般に関して①大学②生活③失敗やアドバイスに分けて書こうと思います。

① 大学については、留学生へのサポートが厚く、とてもよかったと思います。まず学期が始まる前の一週間にオリエンテーションやウェルカムパーティ等、新入生・留学生向けのイベントが一斉に開催されるので、そこで同じ学部に入學してきた新入生や留学生と会うことができました。キャンパス内の案内やBeefのような学生システムの使い方などの説明を受けることができます。オリエンテーションは、留学生・新入生全員対象の大規模なもの、学部オリエンテーションと分かれており、ウェルカムパーティは様々な団体が開催しますが、どれも参加することができるので知り合いを増やす貴重な機会だと思います。また、授業については私が履修した授業のほとんどがマスターコースだったこともあり、学生の多くが留学生でした。授業はすべて英語でしたがほとんどの授業の講師の先生がネイティブではないので、アクセントがあつたり少し聞き取りにくい先生もいますが、だんだん慣れていくので言語に関して心配することはないと思います。授業の難易度に関しては授業によって異なるので一概には言えませんが、基本的に予習復習をしっかりとすれば理解できると思います。履修登録のやり取りや留学に関する質問などで連絡するオフィスの方も対応が早くとても過ごしやすかったです。

② a)言語、b)治安、c)住居、d)物価などその他の生活面の4つの観点から書きます。

a) 言語 フランス語とオランダ語が公用語ですが、市内の店であれば十分英語が通じます。スーパーは英語が通じないところもありますが、セルフレジのお店も多いので支障はないと思います。

b) 住んでいるところ(大学近く)は比較的安全です。夜遅くなどは少し危ないとは思いますが、普通に生活している中で危機を感じるようなことはありませんでした。ただ、大学近くも市の中心部もスリはどこにでもいるので、貴重品はウェストポーチなどに入れジャケットの中に隠しておくなど常に注意は必要だと思います。市の中心部も場所によっては昼間でも危ないところ(浮浪者が多い等)があるので、どの地域が危険かは情報誌などから情報を集めて知っておくべきです。よく言われるのはブリュッセル北駅・ブリュッセル南駅の周辺です。

c) 住居は、大学寮と個人的に契約するアパートと選択肢がいろいろありますが、私は個人的にアパートを契約し結果的によかったと思います。私が住んだところは大学から徒歩10分弱の場所にあり、5階建ての縦長のアパートで、住む部屋にもよりますが、基本的にキッチン、バスルーム、トイレが共用になります。家具が完備されているので、机など大きいものはもちろん、台所用品(鍋、フライパン、食器類)も買う必要がありませんでした。調味料などは自分で購入しますが、入居してすぐ何ももっていない時に、他の住人が貸してくれたり、日常生活でも何か困ったことがあったときに助け合ったり、パーティーをして中を深めたりできるので、寮にはない安心や楽しみがあつたと思います。ちなみにアパートは<https://brik.be/en/student-housing/>のサイトで見つけました。

d) 物価は神戸の物価とほぼ同じです。肉・魚は少し高いですが、定期的に安売りされていたり大量買いするなどしてやりくりしていました。野菜や果物は逆に安かったと思います。

③ 個人的に失敗したと思ったのは、友達作りです。最初のオリエンテーションやウェルカムパーティの時にある程度知り合いができましたが、履修授業が違うなど会う機会があまりなく、結局アパートの住人や同じ授業の人に限られてしまいました。アドバイスとしては、定期的に会える同じ授業の学生と仲良くなったり、ブリュッセル自由大学(仏)の日本語学科の学生と仲良くなるなど、現地の人や留学生とかかわりが持てるといいと思います。また、私の時は、コロナウイルスにより途中帰国することになってしまったので、行きたい場所には早いうちに行っておくべきだと思いました。個人的にオランダには旅行で行きたいと思っていたのに結局行けずまいだったので、ベルギー国内でも行きたい店や場所があれば惜しまず行った方がいいと思います。

1-4 近況報告書提出後に、履修した授業について記入してください。

No.	コース名	教授名	時間数/週	留学先での単位数	授業での使用言語	履修している学生数	予習、復習、テスト等の成績評価についてアドバイスも含めて教えてください
1	European social and population issues	Sylvie Gadeyne	2時間/週	6ECTS	英語	50	毎回の授業でリーディング課題が出ます。テストはすべて自由記述でした。
2	Social change and inequality	Pieter-Paul Verhaeghe	3時間/週	6ECTS	英語	100	毎回の授業で2, 3個のリーディング課題が出ます。テストは選択問題と自由記述でした。
3							
4							
5							
6							

・授業(カリキュラム等)について クラスのサイズ、成績評価、現地学生の取り組み等

European social and population issuesは約50名ほどの生徒が参加し、毎回ゲストレクチャーによる授業です。基本的にレクチャーですが、授業の中で生徒に質問をすることもあり、相互的な授業です。基本的にヨーロッパの政治や社会問題について様々な観点から幅広く授業を行うので専門的な知識は特に必要ないですが、ベルギーの政党や組織名など名前を知らないと理解できないものもあるのでその都度自分で調べたり質問して理解を深める必要があります。成績評価はレポートとテストの二つでレポート5/20、テスト15/20でした。

Social change and inequalityは約100名ほどの生徒が参加する大講義室での授業で、基本的に一人の教授が授業を進めます。inequalityに関する理論からヨーロッパ・世界のinequalityについてまで、理論的・実践的な授業内容です。毎回の授業で予習として2, 3個のリーディング課題とreading questionが出ますが、授業はそのまとめやポイントを押さえた内容なので予習をしていればかなり理解しやすいです。成績評価はテスト100%で、選択問題とオープンクエスチョン(記述)です。